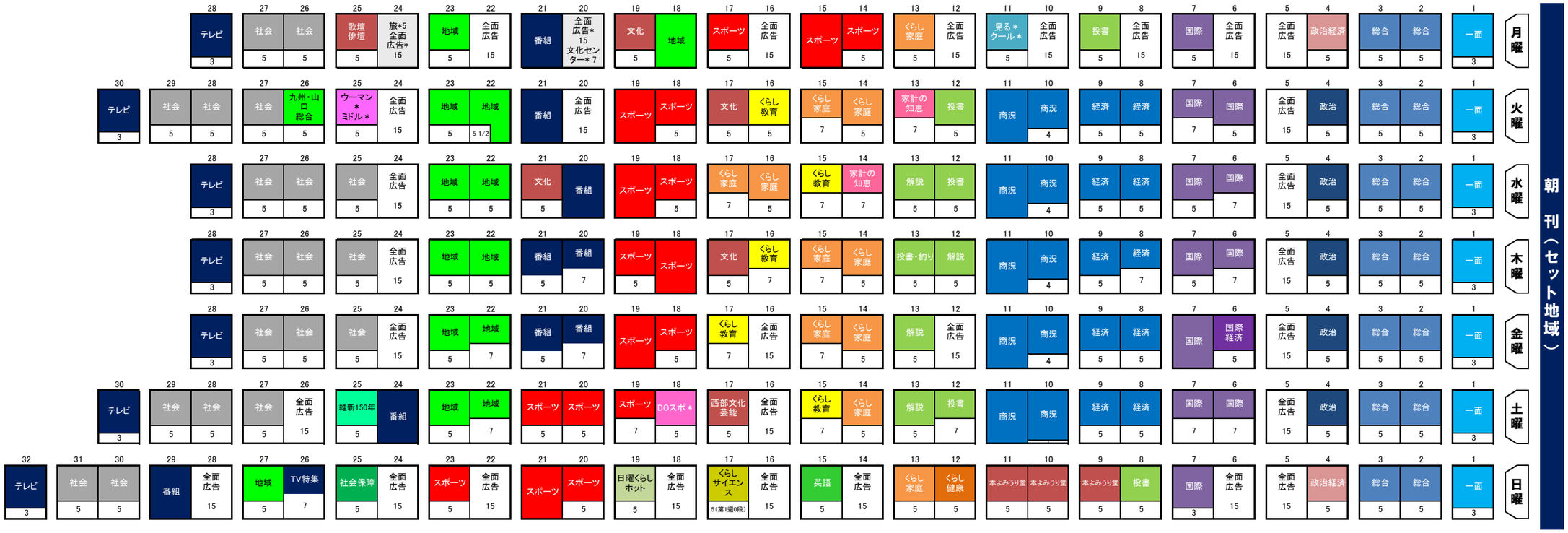
読売新聞の紙面定型表

朝刊（年間約10日の新聞休刊日を除く毎日発行）と夕刊（日曜・祝日・年末年始以外の日に発行）それぞれ、何曜日のどのページに何を入れるかの基本型を決めていて、これを「紙面定型」と呼んでいます。
日々の紙面はこの紙面定型をベースに構成していますが、ニュースの分量などに応じて、総ページ数、並び順、広告段数を変更する場合があります。センターに見開き2ページの広告スペースを設定することも可能です。また、定型にない特別面も随時制作しています。なお、紙面定型は発行する本支社ごとに異なります。全本支社の紙面定型表は、広告局サイト「adv.yomiuri」内の「媒体資料・企画書」でご覧いただけます。

紙面定型表の見方

○上の数字がページ。一番右の「一面」から順に左に進み、最終面「テレビ」まで並んでいます。
○記事面名を内容によって色分けしています。
○白い部分が広告スペース。数字は広告段数です。
○夕刊は、1ページの上下に配置した記事を2分割して独立させ、記事下に広告スペースを設定できる面があります。
　「総合・スポーツ」「芸能・番組」「こころ・からだ」などです。
○＊印の記事は、週により内容が変わります。

西部本社版

2017年4月～